

## ●新年のご挨拶

山口県美容業生活衛生同業組合 理事長 佐竹 章 宏

2021年を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には日頃より、この業界の発展、そして美容組合の運営、推進にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、異常気象による自然災害が続いており苦慮しておりましたが、昨年早々、新型コロナウイルス感染症により、かつて経験したことのない状況となり、世の中の仕組みがガラッと変わってしまいました。

典型的な対人サービス業である我々の美容業もこれを受け感染予防の徹底という事で密を避け、消毒をし、マスクをつけ、換気をしながらでの業務と変わりました。普通であったことが普通でない、こんな状況の中、組合として出来ることを模索した次第です。

こんな時にこそ組織の力、組合の力を発揮して、組合員の為、業界の為に動くべし！と思いましたが、まず何から始めようか？みんなが困っている事は何か？そうこうしている間に3月になった時には、もうマスクや消毒液が店頭から消えていました。無力な自分を自覚しながら、あとは組合が出来ることを今一度皆でしっかり考え、5月ごろから組織力を使って行政に働きかける事や、他県や他業種と情報を共有する事を中心に試み、活動して参りました。県下21支部ありますが、それぞれの支部長が各支部の為にしっかり動いて下さり成果が上がったことだと感謝しております。

今年、私の任期が終わります。私が就任した時からの最大の課題、ミッションが、「組織強化」簡潔に言うと組合の必要性を共感して下さる組合員数を増やすことでした。組合の必要性を考えたときに必ず思うことが、組合が出来たきっかけです。

美容組合が誕生した年が今から64年前の昭和32年で、美容業が正常な業務、衛生基準を満たし、高度な美容サービスと共に消費者に安心安全な仕事を提供出来るようにという事だったと思います。今、その組合が弱体化し、他業種が我々美容業界に参入しビジネスとして無駄を省き、徹底した効率重視した店舗展開をしています。そういった業態では質の低下につながってしまい、美容業が消費者の信頼を得て発展するために、美容師の業権、免許制度等は何としても守っていかないといけないと思信じております。その為にも、個々の力を集め各支部の力を集結し山口県として全国の組織と共に対応して参りたいと思います。

残り少ない任期ですが今一度、就任時の気持ちを忘れずに、力みをとって、しっかり回りを見ながら活動して参る所存ですので皆様の一層ご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって明るく素晴らしい年となります様、心から祈念いたしまして新年の挨拶と致します。



●年頭のご挨拶 全日本美容業生活衛生同業組合連合会 理事長 吉井 真人  
皆様におかれましては、日頃から当連合会の運営と事業の遂行に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的規模で拡大し、多くの重症者と死者をもたらす未曾有の事態となりました。

新年早々ではありますが、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、我が国においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、東京オリンピック・パラリンピックの開催が延期となり、政府の緊急事態宣言に伴う各種イベントの中止、休業要請、外出自粛要請などの感染拡大防止対策がとられ、美容業では、顧客の大幅な減少、消毒用エタノールやマスクの不足等、深刻な被害が発生しました。

政府は、感染拡大防止対策に加え、様々な支援策と経済活動の再開に向けた施策を実行していますが、感染拡大の収束の目処はつかず、先行きは不透明な状態であります。

公衆衛生の向上、衛生水準の維持向上に資することを使命とする美容業は、新型コロナウイルスの感染についての正しい知識に基づいたサービスの提供が求められており、全美連では、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」などを踏まえ、「美容業における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を作成しました。

そして、このガイドラインに基づいた「新型コロナウイルス感染拡大予防講習会」を全国各地で実施し、感染拡大防止を推進しております。

本年は、OMC世界理美容技術選手権世界大会を日本で開催いたします。

1992年以来29年ぶりとなる日本での開催は、美容業界の活性化・発展の契機となるとともに、組織強化にもつながり、併せて、世界の美容業界の相互理解と国際交流の促進を図ることになるものと確信しております。

昨年に引き続き、政府は美容業に関わる事項で規制改革を進めることが予想されますが、美容所の使用確認、美容師の業権、資格制度、養成制度等の基本部分は、美容業が衛生的で高度な美容サービスを提供し、消費者の信頼を得て発展するために、何としても堅持すべく、組織の力を結集し対応してまいります。

このためにも、組合組織の加入率と質の強化を最重要課題とし、昨年より全国的に実施している養成施設との産学連携事業などの諸施策の遂行においても、引き続き、メーカー、ディーラー、養成施設、ジャーナル等すべての関連する方々との協力関係を一層強化し、美容業界の発展につなげていく所存です。

結びに、関係各位の変わらぬご支援ご協力をお願いすると共に、本年が皆様にとって実り多い年となりますよう祈念して、新年のご挨拶といたします。

## ●知事年頭所感 山口県知事 村岡 嗣 政

明けましておめでとうございます。

すがすがしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、山口県美容業生活衛生同業組合の皆様にとりまして、本年がより良い年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

私も、新年を迎え、県民の皆様が安心して暮らし、豊かさを実感できる、そうした希望にあふれる県づくりをしっかりと進めていく決意を、新たにいたしました。

さて、今年の干支は、「辛丑（かのとうし）」であり、新しい時代や新しい仕組みの準備をする年といわれています。

依然として、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にありますが、今年は、何よりもまず、直面する感染症の危機を乗り越え、そして、危機から生まれた社会変革の動きをこれからの成長へとつなげていく一年にしていきたいと考えています。

このため、私は、国の政策とも連携しながら、社会変革の原動力となるデジタル化の推進をはじめ、本県を取り巻く様々な環境変化に的確に対応することにより、コロナの時代の県づくりを、力強く、スピード感を持って前進させてまいります。

貴組合の皆様には、平素から、確かな美容技術と衛生水準の向上に取り組まれ、快適で豊かな県民生活の創造に多大な御貢献をいただいているところであり、今後とも、皆様のたゆまぬお取組やお力添えが、「活力みなぎる山口県」の実現に向けた大きな力になるものと考えています。

皆様方には、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、山口県美容業生活衛生同業組合の益々の御発展と皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念いたします。

